

# Direct-Information of Orienteering in Nippon

(公社) 日本オリエンテーリング協会 理事会・事務局便り



第 48 号 (2024 年 12 月 13 日発行)

全日本リレーオリエンテーリング大会へのご参加ありがとうございました。次回は 2025 年 11 月 9 日(日)に、滋賀県高島市での開催となります。

## 本号の内容

- ・ 第 33 回全日本リレーオリエンテーリング大会開催報告
- ・ 東京 2025 デフリンピック・オリエンテーリング競技運営ボランティア登録について
- ・ MTBO 活動報告
- ・ 今後の公認大会・講習会のお知らせ

### ●第 33 回全日本リレーオリエンテーリング大会開催報告 (全日本リレー委員会)

2024 年度の大会は三重県津市を舞台に、無事開催することができました。前日の伊勢志摩 OLC 大会や鳥羽水族館、伊勢神宮なども併せ、地域の魅力を感じていただけたかと思います。

当日は ME、WE、MJ、WJ、XJ で1位を勝ち取った愛知県が、昨年に続き総合優勝をおさめました。おめでとうございます。

1	愛知県	40点
2	神奈川県	32点
3	埼玉県	29点
4	千葉県	24点
5	東京都	22点
6	京都府	13点



WE・ジュニア 1 走スタート



ME 優勝 愛知1チーム

### ●東京 2025 デフリンピック・オリエンテーリング競技運営ボランティア登録について

2025 年 11 月に開催される東京 2025 デフリンピックにおいて、オリエンテーリング競技が行われ、競技部分を JOA が担当します。

競技開始 1 年前を控えて、オリエンテーリング競技運営にお手伝いいただける意思表示としてのボランティア登録を開始します。実際の活動は、競技日程が確定し、ボランティア登録者自身の都合が確定したところで実施させていただきます。

まだ 1 年先の日程ですので、予定が決まらないかたが多いかと思いますが、まずは競技運営をお手伝いいただける意思のあるかたを登録させていただきたく思います。

詳細は下記 Web サイトよりご確認ください。

<https://www.orienteering.or.jp/archives/20241122-2/>

## ●MTBO 活動報告 (MTBO 委員会)

2024年12月に、MTBO オーストリアチームに所属する Hannes Hnilica 選手が来日します。数年前から日本チームとオーストリアチームは親交を深めており、その縁で実現しました。

彼の成績を紹介すると、MTBO の 2021 年欧州ジュニアユース選手権で M17 カテゴリー1位を獲得、M20 にあがった 18 歳の時に世界ジュニア選手権大会でチャンピオンを獲得し、以来現在まで輝かしい戦績を残しています。現在プロライダー(U20)としても活躍し、先日開催された Austrian CX CUP エリートクラスで 2 位に入賞する実力の持ち主です。



Hannes Hnilica 選手

滞在は約 1 か月の予定で、期間中、日本のシクロレースにも出場します。彼が日本のトップ選手たちと、どこまで競えるか、注目してください。

日本での出場レースは以下のとおりです。

- ・12/14 宇都宮シクロクロス ・道の駅うつのみや ろまんちっく村(栃木県宇都宮市)  
※エンデューロクラス(綾野尋選手と組んで出場)
- ・12/22 関西シクロクロス ・信太山青少年野外活動センター(大阪府和泉市)
- ・1/5 関西シクロクロス ・希望が丘文化公園 西ゲート側(滋賀県野洲市)

もちろん MTBO JAPAN の選手も同じ大会に出場します。ぜひ現地で応援しましょう！

さて、MTB オリエンテーリングの選手がなぜシクロクロスのレースに出場するのでしょうか。

自転車競技の世界では、複数の自転車種目に出るのは珍しくありません。クロストレーニングの意味もあり、MTBO 選手の中にも、複数の自転車種目で常に上位の選手もいます。フットオリエンテーリングの選手が、スカイランニングやロゲイニングやトレイルランに出ると同じくらいか、それ以上に普通の感覚でしょうか。

シクロクロスは MTBO のオフシーズンである秋冬に開催されること、日本国内では西日本から東北地方にかけて、毎週どこかで開催されていること、他の自転車競技に比べて参加費や機材準備がリーズナブルなこと、コースがなだらかで安全なこと、などがあげられます。

その中でも一番の理由としては、シクロクロスに出場することで、トップレベルの選手たちとオフロードで集団走の機会が得られること、これを最も重要視しています。



綾野尋 選手

日本では、世界大会の開催される欧州に対応したフィジカル練習はなかなかできません。特に大人数で競い合う練習を独自開催するのは難しい状況です。日本でシクロクロスに出場することは、オフシーズンの効果的な練習になっているのです。

また、シクロクロスには、春夏はロードやMTBに乗っている選手も集まってきます。その中で MTBO をアピールし、認知度を上げることも大事な活動です。興味を持ってくれる自転車の選手が MTBO 練習に参加してくれる機会も増えてきました。



大類亜美理 選手(左)と 加納尚子選手(右)

そして MTBO JAPAN の選手たちも、違うスポーツの現場に身を置くことで、オリエンテーリングの外の世界を知ることができ、視野を広げることができています。特に見せるスポーツ、応援する、されるスポーツの現場に立つ経験は、選手の意識、モチベーションのあり方にも大きな影響をうけています。

オフシーズンの MTBO 練習も企画しています。12月30日は恒例となる愛知県美浜町にて知多半島 MTBO + お餅つき企画の予定です。初心者も楽しく走れます。こちらもぜひ参加してください。

詳細は MTBO JAPAN の Facebook で発信予定です。

<https://www.facebook.com/groups/mtbojapan/>

●今後の公認大会・講習会のお知らせ

2025年

2月1-2日	第2回イベントアドバイザー講習会	(兵庫県)
3月10-20日	イベントディレクタ認定試験	
10月4日	第14回全日本オリエンテーリング選手権大会(ミドル・ディスタンス競技部門)	(栃木県)
10月5日	第52回全日本オリエンテーリング選手権大会(ロング・ディスタンス競技部門)	(栃木県)
11月9日	第34回全日本リレーオリエンテーリング大会	(滋賀県)

以上